

# 視聴覚教育

NO. 497

発行日

R07. 06. 02

編集・発行

岡崎市AVL

編集協力

現職研修委員会

学習情報部

## これ知ってる!?情報I POSシステム

商品の在庫や売上のデータを一括で管理するシステム。どんな商品が、いつどれだけ売れたかを分析することで、お店の利益を高めることや、食品廃棄等のロスを減らすことなどに役立っている。

### 生成AIとの「共存」

大樹寺小学校 校長 川本祐二

ある生成AIが東大の二次試験に挑戦したというニュースを目にした。共通テストの結果と合わせると、文系では合格者の平均点を大幅に超えて合格。最難関の理三でも合格レベルだという。新井紀子氏の著書「ロボットは東大に入れるか」は記憶に新しいが、出版から既に七年。この間、AIは見事東大に入れるまでになった。まさに日進月歩である。ちなみに、最も正答率が高かった教科は英語で約78%。他にも計算や漢文等にも強い。いわゆる系統的な知識基盤に立脚する能力については、どんなに優れた百科全書的な人間でも、決してかなわないだろう。しかも、前向きなコメントもしてくれるので、AIを家庭教師役にすると、ほぼ万能である。ところで昨年度、学習情報部では、校務でのAIの本格的な利用開始を見据えて研究を進めた。一例として、定型文書を見本として示し、書き換え方を簡条書きで指示すると、期待に沿う文書が効率よく作成できることが分かっていた。つまり、業務の提案、仮作成、点検といったアシスタント役としては、かなり有能である。

一方で、創造力を発揮する分野での正確性やクオリティについては、その能力は未知数だ。試しに学習情報部のオリジナルロゴの制作をMicrosoft Copilotに命令してみた。すると、下のような案を制作してきた。一見すると違和感はないが、よく見ると英語のスペルを間違えているし、iを囲むように配置されている人のような意匠にも統一性がない。残念だが、このままでは利用に堪えない。好意的に見れば、「Informationのi」や「人の人とのつながり」を意匠化した点は評価できる。プロンプト（命令文）を工夫することで、ブラッシュアップする余地は十分にあるだろう。この先、人間とAIは、どのように「共存」していくのだろうか。AIは意図することはできない。今回のロゴのように、AIが生成した成果を解釈し、評価するのは、あくまで人間である。AIがどれだけ進化しても、主体が人間であることは揺るがない。最後には人間が経験や感性等に基づいて判断、決定、実行する。その自明の前提こそが重要なのだろう。



Copilotに生成させた学習情報部のロゴ案

## 視聴覚教育あれこれ!! 令和七年度 学習情報部方針 研究主題

リアルな学びを支える教育DXの推進による、Society5.0を伸びやかに生きる子供の育成  
〜情報活用能力を捉え直し、高めることを通して〜

### 研究の重点

- ①【各教科・領域の授業を情報活用能力で捉え直し、一層高める実践】  
・各教科・領域の授業を情報活用能力で捉え直した研究  
・「岡崎版情報活用能力レベルマップ」を利用した授業実践
- ②【教育DXにおける教師力向上のための研修】  
・電子黒板を含む、ICT全般を活用した授業実践とその研修
- ③【情報活用能力を高める実践と情報手段の適切な活用に関する広報】  
・月報「視聴覚教育」における情報活用能力を高める実践等の広報の充実

### 各部会の主な活動

- 〔広報部会〕  
・月報「視聴覚教育」など視聴覚ライブラリー発行物の編集協力
- 〔実践部会〕  
・従来のツールとICTとのベストミックスを目指し、「誰一人取り残さない教育」の実現に向けた実践と提案
- ・視聴覚ライブラリーの教材・機材の効果的な活用方法の研究
- 〔研修部会〕  
・教師や子供の情報活用指導力向上に向けた研修の計画・実施
- ・教育活動や校務における有効なICT活用方法の研究と提案

## 令和七年度 学習情報部組織

### 部長

川本 祐二（大樹寺小）  
村田 貴志（夏山小）  
夏目 弘之（額田中）

### 教育委員会 担当主事

杉坂 和俊（GIGAスクール戦略係長）  
河合 泰宏（視聴覚ライブラリー所長補佐）

### 指導員

太田 尚志（竜海中） 鈴木 広樹（矢東小）

### 世話係

服部 将也（豊富小） 岩川 皓司（竜南中）

### 各部会世話係

#### 〔広報部会〕

岩川 皓司（竜南中） 長瀬 太一（大樹寺小）  
青山将太郎（岩津中）

#### 〔実践部会〕

酒井 雄一（甲山中） 米澤 和志（大門小）

#### 〔研修部会〕

服部 将也（豊富小） 島田 豪（広幡小）  
保田 晴香（本宿小） 社本 匠（六北小）  
杉山 康子（常磐小） 忠内 亮太（岡崎小）  
安藤 怜菜（山中小）

## 各種大会

### ・研究会の案内

#### 《研究会》

- ・おかざきツズ プログラミング・フェスタ2025
- ・8月7日（水）総合学習センター
- ・三教研ICT活用研究会
- ・8月1日（金）
- ・県放送教育特別研究会
- ・8月20日（水）ウインクあいち

#### 《研修会》

・授業力・教師力アップセミナー

【基礎編】 7月24日（木）午前

【専門編】 7月29日（火）午前

・学習情報部自主研修会「TAV」（随時）

#### 《研究論文》

- ・ちゅうでん教育振興助成（6月13日（金） 締切）
- ・パナソニック教育財団実践研究助成

（例年1月中旬締切）

※県や市の教育論文をはじめ多くの機会があります。日頃の実践成果をまとめてみましょう。

#### 《コンクール》

- ・ふるさと岡崎メディアコンクール
- ・ICT夢コンテスト など

#### 《児童・生徒のコンクール》

- ・ふるさと岡崎メディアコンクール
- ・NHK杯全国中学校放送コンテスト愛知県大会
- ・パナソニックKWN日本コンテスト

など

## ライブラリーだよ

### 所長

柴田 英代

### 所長補佐

河合 泰宏

### 職員

青木 佑介

山本 やよい

白木 千春

青野 寛子

ライブラリーで長く在籍しておりました鳥居が異動となり、新たな体制となりました。今後ともよろしくお願いいたします。

本日よりでは、視聴覚・情報教育に関する主な支援内容を紹介いたします。

#### ●情報モラル出前講座

視聴覚ライブラリーは児童生徒、保護者対象の「情報モラル出前講座」を随時行っています。内容はSNSやスマホ利用に関する情報提供や注意喚起などです。実施を希望する時は右記載の連絡先にお問い合わせください。

#### ●教材の貸出

視聴覚ライブラリーは貸出用教材（デジタルコンテンツ含む）を保有しています。貸出用教材の一覧は、各校にある教材目録か視聴覚ライブラリーHPで確認ください。貸出予約は、HPから営業時間外でも予約可能ですので、便利なネットの予約をぜひご利用ください。

教材については巡回郵便での貸出・返却対応もしております。今年度から平日木曜は午後7時まで窓口を開設しておりますのでぜひご利用ください。



連絡先 岡崎市  
視聴覚ライブラリー  
23-6789